



横浜銀行 ニューヨーク駐在員事務所

週間トピックス Vol. 505 (2020. 1. 27)

<今週のトピックス>

New York Times Travel Show

ニューヨーク最大の展示会場である Javits Convention Center において、アメリカ最大級の旅行博である「New York Times Travel Show」(以下「Travel Show」)が1月24日(金)～26日(日)の3日間の日程で開催されました(24日は業者のみ、25～26日は一般公開)。当日は、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、中東、アメリカ(州単位)など世界中の旅行代理店や自治体、リゾートホテル等による200超のブースが出展され、会場を埋め尽くすほどの来場者がブースやプレゼンスタジオ、相談スペース等で次の旅行先を探していました。

日本からは、Japan ブースを中心に神奈川、横浜、愛知、秋田、石川といった地方自治体が自治体国際化協会のニューヨーク事務所と連携するなどして出展したほか、航空、鉄道、ホテル、旅行代理店等旅行関連の事業者が多数出展し、来場者に熱のこもったプレゼンをしていました。

2019年の海外からの訪日客数は推計3,200万人弱(日本政府観光局データによる)で、そのうちアメリカからは約170万人でした。国別では5番目に多いようです。ちなみに1位は中国の約950万人、次いで韓国、台湾、香港の順ですので、アジア外ではアメリカからの訪日客数は最も多いことになります。

2020年は東京オリンピックが開催されるため、観光業界にとっても非常に重要な年になります。この機会により多くの方々に日本の魅力を知っていただくことで、以降の訪日観光客増につながることを期待されます。



- 本レポートは情報提供のみを目的として作成したものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ご利用に関しては、すべてお客さまご自身でご判断くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 本レポートは信頼できると思われる情報に基づいて作成していますが、当行はその正確性を保証するものではありません。
- 本レポートのご利用によりお客さまがいかなる損失、損害を受けられても当行は一切の責任を負いません。
- 本レポートはお客さま限りでご利用くださいますようお願いいたします。